

困難を乗り越えてこそ！！

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、2月27日の夕方に安倍総理から異例の全国一斉休校の要請がありました。それを受けて、山梨県では、28日に長崎知事の会見が行われ、3月3日午後2時から全県一斉に休校するよう各市町村教育委員会に要請がありました。身延町でも臨時の校長会が開催され、教育委員会と共に検討する中で、県の要請を受け入れることに決定しました。

明治の学制発布以来、戦時中でもこのようなことはなかったと思います。まさに未曾有のできごとです。休校までの期間が短かったこともあり、準備不足は否めませんが、学校としてもできるだけのことをしていきます。何か不明な点や不安なところがあったら、遠慮せず学校へご相談ください。

卒業式や修了式を簡素化して行ったり、やりきれなかった学習内容を来年度に持ち越したり、休校中ずっと家で過ごさなければならなかったりと、子どもたちにも大きなストレスがかかることと思います。しかし、「困難を乗り越えてこそ、道は開ける。」と信じています。子どもたちには、最後の日に「このピンチをチャンスと捉えて、家で自主的に過ごすことによって、自律する力を身に付けよう。」と話しました。学校からのおたよりでお知らせした家での過ごし方など、大変負担をおかけしますが、ぜひご家庭の協力をよろしくお願いいたします。



ありがとう6年生

とても残念なことに、3月4日に予定されていた「6年生を送る会」も中止になりました。しかし、5年生の新児童会が中心になって、在校生一人一人のメッセージをまとめた色紙が準備してありました。3月3日の朝、在校生の代表として5年生が6年生に感謝の気持ちを込めて色紙を手渡しました。最後の機会に感謝の気持ちを込め、大きな拍手と共に気持ちを一つにして6年生を送りました。

これも残念なことですが、在校生は、参加者制限のため、卒業式に参加することができません。そのため、学年ごとビデオに贈る言葉を収録し、当日スクリーンに映す形で参加し、感謝の気持ちを表す予定です。



ご参加ありがとうございました。

—授業参観・学年PTA・執行部会—



今年度最後のPTA行事の授業参観と学年PTA、執行部会が、2月26日に行われました。

最後の授業参観ということもあり、1年間を振り返ったり、将来の夢をまとめたり、保護者への感謝の気持ちを伝えたりと、各学年、工夫して取り組んでいました。児童の発表や学習の様子に1年間の成長を感じていただけたなら、これ以上の喜びはありません。来年度、児童のさらなる飛躍を願っています。

学年PTA総会では、1年間の学習・学校生活の振り返りや会計報告を担当が行いました。また、来年度の学年PTA役員も決定していただきました。それぞれ専門部に所属して、PTA活動をリードしていただきます。どうぞ来年度もよろしくお願ひします。



学年PTA総会が終わった後、16:45から会議室で、最後の執行部会が行われました。今年度の反省、会計報告、来年度の役員、活動方針、予算、PTA総会などについて話し合いました。執行部の皆様には、1年間大変お世話になりました。おかげさまで、充実したPTA活動を行うことができました。ありがとうございました。

ゲーム集会 2月20日



今年度の児童会活動の締めくくりとして、ゲーム集会が行われました。始めに、長縄跳び「八の字跳び」をしました。朝の体力作りでも取り組んできたので、どのチームも好記録を出すことができました。次に「三色チームおにごっこ」をしました。色別に三色が入り乱れて元気に飛び回りました。児童会本部の皆さん、楽しい活動をありがとうございました。

新役員による初めての代表委員会

来年度の児童会役員による代表委員会が2月18日に行われました。議題は、6年生を送る会です。

初めてでしたが、充実した話し合いにすることができました。来年度の活動にも期待ができそうです。



〔編集後記〕

2月27日、安倍首相の全国休校要請を夕方のニュースで知ったときは、本当にびっくりしました。感染が、そこまで深刻なものであるとは、考えていなかったからです。

まだまだ感染拡大が続いているようですが、早期の終息を願わずにはられません。

(文責 校長 渡辺 勝)